

暮らししやすいまちへ積極的に提案

▼JR大住駅にエレベーター設置を

6月議会です市長の施政方針演説に、大住駅へのエレベーター設置について具体的に触れられたことを指摘し、市として本格的に取り組むよう求め、建設部長から「JR西日本に対して積極的に要望及び協議を進めている」と答弁がありました。

▼松井ヶ丘幼稚園から大住ふれあいセンター方面への遊歩道整備を

同遊歩道の整備について、進捗状況や見通しを明らかにするよう求め、建設部長から「昨年度に地元区、自治会と協議し一定の理解を得た。今年度に詳細設計を実施し、用地取得に取り組み、早期に供用できるように進める」と答弁がありました。（写真は国土地理院HPから）

地図・空中写真閲覧サービス



▼松井山手駅と松井ヶ丘3丁目間の階段にスロープ設置を

松井山手駅に通じる階段（上の写真）にスロープを設置するよう求めました。建設部長から「昨年度に地元自治会からも要望があり住民の強い意向を認識している。しかしスロープの傾斜が急になるという課題がある事から、工夫などを自治会と協議している。」と答弁がありました。

松井ヶ丘小グラウンドの水はけ改善を緊急申し入れ



地域の方から松井ヶ丘小学校のグラウンドが、この春に北側に仮設校舎ができてから、水はけが急に悪くなったと相談があり、さっそく現場を確認に行きました。9月4日午前訪問しその日は朝から晴れていましたが、前日に累計10mmの雨が当たったため、グラウンド全体がぬかるんでおり、この日の体育の授業も体育館で行う状況でした。直ちに市教育委員会に、現地の状況も示しながら早急な改善を申し入れました。特に9月下旬には小学校の運動会もあることから、その際には緊急対策も講じるよう求めました。



9月議会一般質問

▼乱開発につながりかねない

市街化区域編入は中止を

京田辺市は、現在、開発を抑制する市街化調整区域になっている松井地区の一部（第二京阪田辺料金所の南東にある11・7ヘクタールの地域）を、市街化区域に編入する計画を提案しています。

同地域は自然と緑が残された里山地域であり、また国の規制緩和で流通分野では開発が特別に認められていることから、乱開発につながりかねない市街化区域への編入は中止すべきだと求めました。

建設部長からは「市マスタープランにそってIC周辺は交通利便性をいかして整備すべき地域としており、合致した計画なので編入する。また土地利用を担保するための地区計画を定めるので乱開発にならない。」と答弁がありました。

再質問では、市長が「緑を大切にすることがまちづくりの基本理念の一つだ」と表明している事もあげ、見直すよう求めました。これには市長から「守るべきは守るといふことで、地区計画をつくっていく。」と答弁がありました。

市街化編入が計画されている地域



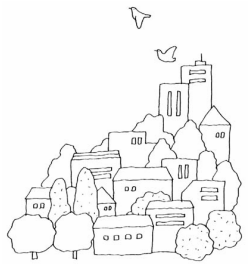
▼原発事故時の避難計画が不十分なままでの再稼働はしないよう表明を

再稼働はしないよう表明を

また同地域に大手流通企業が大型物流倉庫の建設計画を公表した事から、自然・住環境が悪化しないよう周辺住民と十分な協議をするよう求めました。

建設部長の答弁では、松井区や山手東地域、農家組合などに説明会がもたれたことを報告し、今後も地区計画策定にあたっては住民の意見を聞いていくことや、事業者に対して市の開発手続条例にもつき住民説明を十分にしよう指導していく、と表明がありました。

京都府は今年2月、高浜原発や大飯原発で事故が発生した際に、府北部住民の避難の具体的な指針となる「原子力災害に係る広域避難要領」を策定しました。京田辺市も宮津市から避難してくる住民の受け入れが求められており、市の対応を質しました。これには危機管理監から「今後、対応についてマニュアル作成なども含めて、今年度中に検討していく。」と答弁がありました。



京田辺市議会議員

日本共産党

青木こうじろう

活動報告 2015年10月発行



みなさんのご意見・ご要望をお寄せください
青木こうじろう
 山手東 1-8-6-106 TEL63-3883 (FAX 兼)
 aoki-koujiro@y3.dion.ne.jp
 青木こうじろうブログ 検索

戦争法強行採決に抗議し、 撤廃を求める意見書を可決！

安倍内閣、自民党、公明党は9月19日未明、国民の大きな反対の声を押し切って憲法に反し、日本をアメリカの戦争に巻き込む「戦争法」を強行採決で成立させました。強行採決に対し、市民の怒りは大きく広がり17日から3日間連続して新田辺駅西口で「憲法違反の戦争法は許せない」と抗議の宣伝が取り組まれました。京田辺市議会でも30日の閉会本会議で、日本共産党と「みらい京田辺」（民主党系会派）の

議員が共同で提案した「安保関連法案の強行採決に強く抗議し、法の執行の停止と撤廃を求める意見書」が賛成多数で可決されました。採決では6月議会で戦争法案の「慎重審議を求める」意見書を提案した一新会から2人の議員が棄権し、賛成は日本共産党5人、みらい京田辺3人、無党派2人、反対は一新会3人、自民新風会2人、公明党2人、となりました。



市民団体の呼びかけた「戦争法反対」の街頭演説には、日本共産党議員や無党派議員も参加し、一緒に訴えました。

9月議会で実現した主な成果

☆委員会議事録をインターネット公開へ

9月議会で、市議会の特別委員会、常任委員会の委員会議事録のインターネット公開のための予算が実現し、この秋から公開されます。昨年の議会改革で、議会基本条例や一般質問を行う本会議のライブ中継・録画配信が実現しています。日本共産党はより市民に開かれた議会としていくために、委員会審議の議事録もインターネット上で公開することを提案してきました。

☆公共工事の労務単価引き上げを、賃金引き上げに反映を

三山木小校舎新築工事で、人件費を引き上げるための工事代金引き上げ（約3千5百万円）が行われます。確実に労働者の賃金引き上げに使われるよう対策を求め実現しました。

☆雨水タンク助成へ前向きな姿勢

一般質問で、家庭用雨水タンク購入への助成を求め、市当局から「実施を検討していく」と前向きな答弁を引き出しました。

☆通学路安全対策事業の毎年継続実施へ

一般質問で、通学路安全対策事業を毎年継続して実施する事を提案し、市当局から「毎年おこなう」と答弁がありました。

マイナンバー制度は中止を！

9月議会ではマイナンバーカード発行支援事業として補正予算に約3200万円が計上された他、マイナンバーカード再発行の手数料を規定する条例改正が行われました。

マイナンバー制度には政府によって巨額の税金が投入されます。京田辺市でも、「住民基本台帳システム」や「地方税システム」など各種のシステムの整備改修のために昨年度は約2500万円が支出され、今年度も約3500万円の支出が見込まれています。これだけの支出に見合う効果があるのかも疑問です。



日本共産党はマイナンバー制度の内容が多額の国民に知られていないことや個人情報漏えいに対する不安が広くある事などを指摘し、その中止を求め、条例改正と補正予算に反対しました。

9月議会・主な議案、意見書等への各会派の態度

	日本共産党	一新会	みらい京田辺	自民新風会	公明党	次田典子	南部登志子	結果
マイナンバーカード発行にかかわる手数料条例の一部改正	●	○	○	○	○	○	○	可決
消防ポンプ自動車の取得について	○	○	○	○	○	○	○	可決
ゴミ焼却場広域化にかかわる土地取得について	●	○	○	○	○	○	○	可決
三山木小校舎新築工事等労務単価引き上げ等による契約金額の変更	○	○	○	○	○	○	○	可決
2015年度一般会計補正予算	●	○	○	○	○	○	○	可決
戦争法強行採決に抗議し、執行停止と撤廃を求める意見書	○	●	○	●	●	○	○	可決

※○=賛成、●=反対、—=棄権。

日本共産党京田辺市議団は次の見解を発表しました。

日本共産党京田辺市議団ニュース

第1044号 2015年10月18日
連絡先：日本共産党山城地区委員会 TEL98-3883
市役所議員控室TEL63-1122（内線522）

枚方市とのゴミ処理広域化 「基本構想」は見直しを

9月議会では枚方市とのゴミ処理広域化をめぐって重大な問題点が明らかになりました。市当局が昨年策定した「ごみ処理施設整備基本構想」で示された広域化の際の焼却場規模や事業費負担などについて、市は「基本構想の数字等は参考資料であり、具体的な事はこれから枚方市と協議し決定する」と述べ、しかも協議の中で、枚方市側から事業費の「ゴミ排出量」比による按分負担を軽くするために一部均等負担を持ち出されるなど、「基本構想」内の事業費予測を覆しかねない状況も明らかになりました。

このような事態に対し、日本共産党は「基本構想」は「広域処理ありき」で他の課題（焼却場規模や事業費の見通しと負担割合、ゴミ収集や分別処理のあり方等）がすべて先送りされていることを批判し、「基本構想」の全面的な見直しを行うことを求めました。

また「広域処理」の用地として約3万2千平方メートルの土地取得議案が提案されたのに対して、新焼却場規模も未定の段階では面積などの妥当性も疑われる事を指摘して反対しました。